

平成 29 年度第 3 回佐世保市地域公共交通活性化協議会 議事録

場所：佐世保市役所 5 階 庁議室

時間：平成 30 年 3 月 30 日（金）15:00～16:30

（事務局：福井）

定刻となりましたので、ただいまから平成 29 年度第 3 回佐世保市地域公共交通活性化協議会を開会いたします。本日はお忙しい中お集まりいただきましてありがとうございます。私は、本協議会事務局で佐世保市地域交通課の福井と申します。進行役を務めさせていただきますのでよろしく願いいたします。

協議会の開催にあたり、会の成立要件の確認ですが、協議会規約第 7 条第 2 項に「構成員の過半数以上の出席により成立する」とあります。本日は、委員 21 名のうち、代理出席も含めて 16 名のご出席を頂き、協議会の成立要件を満たしていることをご報告いたします。

本日の議題でございますが、お手元の会次第にありますように、本協議会でご協議頂き策定しました「地域公共交通網形成計画」の進捗状況について、および平成 30 年度予算についてでございます。

それから、「バス運行体制一体化に向けた協議の進捗状況」としてスケジュールや協議の進捗状況、そして、12 月から 1 月にかけて行った住民説明会の内容、さらに、再編実施計画の作成状況について、ご報告させていただくこととしております。

今後の協議を進める上でのご意見、アドバイス等を頂きたいと考えておりますので、よろしく願い申し上げます。

なお、本日の会議は、協議会規約第 7 条第 4 条に基づき、公開とさせていただきたいと思っておりますので、ご了承くださいますようお願いいたします。

それでは協議会を開催するにあたって、はじめに本協議会の会長である佐世保市の朝長市長がご挨拶申し上げます。

（朝長市長）

本日はお忙しい中にも関わらず、平成 29 年度第 3 回佐世保市地域公共交通活性化協議会へご出席を賜り、誠にありがとうございます。

また、日頃から本市の市政推進へのご理解とご協力を賜り、この場をお借りしまして厚くお礼を申し上げます。

現在、持続可能なバス路線の維持を目指し、バス運行体制一体化に向けてバス事業者さんと市において、具体的な協議を進めている状況です。

昨年 11 月に開催しました第 2 回協議会では、協議の進捗状況やバス再編に向けた具体的な計画である「地域公共交通再編実施計画」の骨子をお示しし、また、バス再編に関する住民説

明会の事前報告を行ったところでしたが、今回はその後の協議の進捗状況や今後の進め方などについて現時点での状況について報告があるということです。

なお、住民説明会は前回の協議会で皆様から頂いたご意見やご助言を踏まえ、また、バス事業者にもご参加いただいて12月から1月にかけての週末の日程で、合計25か所において実施しましたので、本日はこの住民説明会のご報告もさせていただきます。

バス運行体制一体化に向けた取り組みにつきましては、いよいよ残すところあと1年となっております。

さまざまな点についてできるだけ早急に決定する必要があることから、今後の協議を順調に進捗させるためにも、本日の協議会においても皆様からの忌憚のないご意見をいただきますようお願いいたします。

結びとなりますが、委員の皆様のご健勝、ご活躍を心から祈念申し上げまして、本日のご挨拶といたします。

(事務局：福井)

ありがとうございました。それでは、ここからは朝長会長に進行をお願いしたいと思います。朝長会長、よろしくをお願いします。

(朝長会長)

ここからは私が議事の進行をさせていただきます。お手元の会次第に沿って進めてまいります。

まずは会次第の3つ目でございますが、本日の議題として、

(1) 地域公共交通網形成計画の進捗状況について

となっております。

形成計画については、施策がどのように進んでいるのか、進捗状況を把握して頂き、協議会としても推進を図る必要があるかと思っておりますので、事務局から説明をお願いします。

※事務局説明（省略）

(朝長会長)

ありがとうございました。今の説明について、事業に携わっていただきました委員の皆様から、補足説明やその他の質問、意見等ございませんでしょうか。

(交通局：田崎委員)

パークアンドライドのところで、相浦駅の遊休スペースを駐車場にということでしたが、普通車にして何台くらい止められるスペースなのですか。

(松浦鉄道：井上幹事)

現在、駅の正面は月極めなどに使っていますが、トンネルになっている通路を上

に上がっていくと元の駐車場があります。現在は使われていませんが、約 20 台停められますので、ここを整備して、本来であれば松浦鉄道で来ていただいて港まで歩いていくというのが、私どもとしましてはお願いするところですが、マイカー等でお見えになる方用に 20 台分ほど整備して管理しています。そのほかの駐車場が少ないので、松浦鉄道としても協力したいということで考えております。料金は無料です。

(朝長会長)

他にございませんか。

(長崎県立大学：鶴指委員)

地域が連携した各種利用促進の企画・開発の中の中心市街の飲食店を連携させた公共交通の利用促進プランで、本学の学生が地域活性化、あるいは私のゼミが公共交通を扱っているのが、公共交通の活性化に非常に関心があり、また私がかねてより地域活性化に関心がございまして、ゼミで1年間議論しました。その中で地域交通課の皆様とプレゼンして議論をしたうえで、かつ学内にもアンケートを取って公共交通の利用状況などを詳しく調べて、1月に提案をさせていただきました。

今後、事業者の皆様、商店街の皆様、地域の方々にご協力いただくことがあると思いますが、どうかよろしく願いいたします。今後も私もそうですが本学では地域交通に対して積極的に取り組んでまいりますので、連携事業等何かございましたら声をかけていただければと思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

(朝長会長)

ありがとうございました。今後とも県立大学の皆様にご協力をいただきますよう、こちらこそよろしく願いいたします。

(事務局：井上)

事務局から一つ訂正があります。

先ほど相浦駅のパークアンドライドの駐車場のことを述べましたが、「提供いただいております」とすでにやっているという言い方をしましたが、まだ提供されていないということで、これからということで話をしておりますので、訂正させていただきます。

(朝長会長)

他にございませんか。

では次の議題であります、「平成 30 年度予算について」事務局から説明をお願いします。

※事務局説明（省略）

(朝長会長)

何か質問はございませんか。

《質問等なし》

(朝長会長)

ないようでしたら協議会としてこの案を承認させていただくということでよろしいでしょうか。

《異議なしの声》

(朝長会長)

ありがとうございました。承認されました。

次に、報告事項に移らせていただきます。

バス運行体制一体化の進捗状況について、まずはスケジュールと協議進捗状況の二つの項目について続けて事務局から説明をお願いいたします。

※事務局説明（省略）

(朝長会長)

ありがとうございました。

今の報告に関しましてそれぞれのバス事業者様から何かございましたら補足説明をお願いします。

(西肥自動車：川口委員)

運行体制一体化に関する進捗状況等の詳細な説明がございましたが、当社としましては地域のバス事業者としての責任と、また公共交通機関としての使命を、十二分に自覚いたしまして、ご利用いただくお客様の利便性を維持し、お客様の利用状況に合わせたダイヤの設定を、現在交通局と色々協議しながら取り組んでいるところでございます。5月末までには仕上げたいと思っております。

また、持続可能な地域公共交通を目指して、今のところ色々な課題はございますが、いよいよ正念場を迎えており、諸課題の解決に向けてしっかりと結論を出してまいりたいと思っておりますので、皆様方におかれましてもどうぞご理解、ご協力のほどよろしくお願いいたします。全力で押し進めてまいります。

(交通局：田崎委員)

今年度中に一定協議を整えるというスケジュールを組んでありましたが、私どもがすこし足を引っ張っているきらいもあったように思っておりますが、いずれにしても来年度の9月議会

には交通局の動きに対して条例を提出する予定にしておりますので、西肥自動車川口委員がおっしゃったように作業を進めていきたいと思っております。

(朝長会長)

ありがとうございました。

事務局の説明と、西肥自動車、交通局の補足説明を含めて、ご不明な点や確認したいことがありましたらお願いします。

(長崎県交通運輸産業労働組合協議会：野原委員)

西肥自動車、させぼバス、別々の会社ということで労働条件も別であると伺っていますが、年収370万円を目指していくというところで、基本となる部分で目指していくのか、それとも残業代込みで目指していくのですか。西肥バスの賃金で370万円に達している部分がありますが、残業が多いということもあります。30時間から40時間以上の残業をしないで370万円を目指していくのですか。80時間の残業をして370万円を目指していくのか、30時間から40時間で年収を目指していくのか、そこも含めてお聞きします。

(朝長会長)

これはどちらから回答しますか。経営に関することもあります。まだ計画の段階でしょうか。佐世保市からお願いします。

(事務局：中西)

事務局の意識と申しますか、今までバス事業者と話をしてきた中での理解でございますが、現時点では残業代を含めた総トータルでシミュレーションされていたと思います。ただ、労働環境の改善もお願いしたいと話しておりますので、そこから申しますと、単価を上げながら、残業時間を少なくしていきながら、全く残業なしというのは厳しいのかもしれませんが、労働条件も合わせた中での370万円を目指していけると考えております。

(朝長会長)

よろしいでしょうか。ほかに何かございませんか。

それでは次の住民説明会の報告について事務局よりお願いします。

※事務局説明（省略）

(朝長会長)

ありがとうございました。住民説明会の報告がありましたが、ご不明な点や確認したい点などございませんでしょうか。

《質問等なし》

(朝長会長)

それでは次の再編実施計画の作成状況について事務局より説明をお願いします。

※事務局説明（省略）

(朝長会長)

ありがとうございました。

詳細の内容につきましては、次回中身ができてから改めて報告ということでしたが、これまでの説明の中にもバス運転士の人員不足ということがありました。

色々な業界でも課題になっていると聞いておりますが、他の交通事業者様とされてはどのような状況か、ご発言できる範囲でお聞かせいただければと思います。

(佐世保市タクシー協会：川口委員)

タクシーにおきましても人員不足は非常に深刻な状況に陥っておりまして、直近の数字で申し上げますと、2月の全体の稼働率が63%というところまで落ち込んでおります。15年前までは90%近くまで稼働しておりましたので、ここ数年で急速に悪化してきているという状況でございます。稼働率については各社上下がございますが、稼働できている会社では85%ほど、稼働できていない会社では40%という開きになっている。個々の会社で募集はかけているが、なかなか施策がうまく行っておらず、各社抱えている悩みは一緒なので、タクシー業界全体でPRをしていくということで、今話を進めているところでございます。若手が入ってこないというのが一つの悩みどころですので、若い人たちにどうアピールしていくのかということと、女性ドライバーを増やしていきたいということで、女性ドライバーにつきましては、小さな子供さんがいる方には託児所についても検討していかなければなりませんし、勤務体制についてもフレキシブルに考えていかなければならないと考えております。

ファミリーマートの話だったと思いますが、ご婦人の労働力を取り込むということでプロジェクトをされ、最初は「勤務時間については応相談」、相談に乗りますよと募集をかけたところ、あまりインパクトはありませんでした。それを変えて「勤務時間2時間から」としたら非常に人員が集まったという話をされておりました。タクシーにおいては2時間というのは考えられないことですが、勤務時間に置きましても表現の仕方と申しますか、出来る範囲で柔軟なやり方でアピールをしていきながら、女性の労働力についてもタクシーに取り込んでいければと思っております。

(JR九州長崎支社：緒方幹事)

JR九州は乗務員、車掌、運転士は全社的に千人近くおりますので、1000名の社員をどう確保していくのか、定年退職もありますので、毎年九州全体で100名近い乗務員を養成している状況でございます。乗務員の採用方法で言うと、「乗務員採用」という募集をやっておりません。JR九州の「専門職採用」という形で募集しておりますので、一旦JR九州に専門職として入社し、1年目の配属を駅や設備の保守に配属します。その中から2年目以降の社員を対象に

して乗務員を募集するという形をとっておりますので、今のところ JR 九州全体で採用してそういうやり方をしておりますので、何とか毎年の乗務員、必要な乗務員の養成を確保できているという状況でございます。しかし、今後若者も減っていくという状況で、首都圏の採用も増えておりますので、景気のいいメーカーに全体の募集が流れていっている状況がありますので、鉄道事業は引き続き合理的、効率的に運営していきながら、必要な数を減らしていくのが今後必要な経営課題だと考えております。

佐世保地区で言いますと、駅のみどりの窓口や改札口で働く地域社員の採用が3、4年前から非常に苦慮しており、駅やハローワークで募集をかけていますが、どうしても景気がいいのでほかの業種、労働条件のいいところに流れるという状況になってきておりますので、そういったところをこれからどのように確保していくかが我々の課題だと考えております。

(松浦鉄道：井上幹事)

当社には運転士が50名弱おりますが、非常に高齢化が進んでおります。本来なら65歳を基に更新を考えておりますが、なかなか募集をかけても集まらないという状況です。原因の一つは、国の定めですが、運転士が20歳からでないと教育ができないという点です。弊社の場合は高卒から採用して2年間営業において、20歳になってから運転士というのはなかなか難しいところがあり、2年間で営業をきって運転士という作り方が厳しいので、20歳の方を直接中途採用するわけですが、なかなか手が挙げがらず苦慮しております。そういうこともあり、65歳で退職したいという方も多いですが、残ってもらって70歳近くまで年齢的に達している方がいらっしゃいます。人口減少ということもあり、地元であちこち広報や専門学校で話をしておりますが、手を挙げていただけないという状況です。不足した部分につきましては、残業のお願いしたり、あるいは管理職が乗務するというところで今のところ対応しております。

(朝長会長)

それぞれご報告いただきましたが、何かご質問はございませんでしょうか。

私か1点よろしいでしょうか。関係ない話かもしれませんがJRの3月のダイヤ改正で、普通列車が廃止になって特急列車に乗ることができるようになりましたが、この影響はどうなのですか。

(JR九州長崎支社：緒方幹事)

影響というのは収入のことですか。

(朝長会長)

収入ではなく利便性です。

(JR九州長崎支社：緒方幹事)

佐世保～早岐間の特急列車に普通乗車券でご利用いただけるようにしたのは、今まで佐世保から肥前山口まで、佐世保線の早岐よりも博多方面、そこに行く普通列車がありましたので、

その普通列車を肥前山口から早岐折り返しというのを何本か設定しました。その対応として佐世保早岐間は特急列車に普通乗車券で乗車できるということにしたのですが、最初は乗り換えが必要で、私たちの広報が悪かったということもあり、そのことを知らなかったというお客様がいらっしゃり、早岐の方で少し混乱していましたが、今はお客様にご承知いただいでご利用されているという状況でございます。佐世保から早岐まで特急列車に乗られて、早岐では10分弱ほどで接続していますので、ホームも変わりますが、佐世保早岐間の普通列車の本数を少し減らしましたので、その代替としてはうまく活用いただいでいると考えております。

(朝長会長)

大塔日宇間が少し不便になっていますが、これについては何かございますか。

(JR九州長崎支社：緒方幹事)

大塔日宇につきましても、デイトムの時間帯に本数が減っています。2両のワンマンの列車も走っております。お客様から車内が混雑しているというご意見もいただきましたので、こういった内容につきましては、今後、学校が始まる4月の第2週からは利用状況を見ながら、乗降調査も含めて検討、判断をしていきたいと思っています。車内が込み合っているというご意見をたくさんいただいでおりますし、我々もそう感じております。

(朝長会長)

松浦鉄道の相互乗り入れの話は可能性としては出てきますか。

(JR九州長崎支社：緒方幹事)

現状、朝の通勤時間帯はそうとなっておりますが、この場では申し上げにくいものがあります。

(朝長会長)

他にございませんか。

それでは、本日はオブザーバーとして国からもご参加いただいでおりますので、それぞれのお立場から本日の会議の振り返りの中で、補足説明や今後進めていく上でのアドバイス等ありましたらよろしく願ひいたします。

(九州運輸局交通企画課：鈴木オブザーバー)

再編実施計画を見て一点意見ですが、これは一般市民の方もご覧になって、自分の地区の交通がどうなるのかを見られると思います。検討していただきたいのですが、概要とダイヤ状況しか書いてないので、自分の地域でどういうことが起こるのか、パッと見て分かりにくい構成になっていると思います。区間表を見ると便数は減っている、しかし実際に起こるのは第6章の表の中の区間表を見ないと、自分の地域で何が起こるのか具体的に分かりにくい構成になっています。一つ意見として申し上げさせていただくなら、それぞれの地区で自分の地域で何が起こるのかパッとまとまっていると、市民の方がこの計画書を見た時に分かり易く、すっと入

っていくと思いましたので、今後1年間ございますので検討いただければと思います。

今日の会議は3時からということで、公共交通機関で博多から来るのに非常にいい時間に設定していただいたと思います。色々な交通会議に出席させていただきますが、あと10分遅ければこれで行けたのに、そういう会議が結構あります。公共交通機関で行けないような時間設定がしてあり、交通会議は車で来ることが前提みたいところが散見されますので、こういう非常にいい適切な時間で会議を開いていただけるよう、引き続きよろしく申し上げます。

計画に関しましては、事業を着実に精力的に実施していただいていることにつきましても大変感謝しております。昨年11月、12月に私もこの場に同席させていただきましたが、それ以降も地域への説明など丁寧に進めてきていただいておりますし、あと1年ということもございますので、30年度の九州の再編の1つの大きなコマだと思っておりますので、精力的に、私も全力で務めさせて頂ければと思っておりますので、引き続きよろしく願いいたします。

(長崎運輸支局：高田オブザーバー)

来年度末のバス運行体制一体化に向けて、必要な調整や合意形成、そして再編実施計画の作成が本格化すると思います。引き続き来年度もよろしく願いいたします。

大野地区のまめバスが、地域公共交通の優良事例ということで、九州運輸局長表彰をさせていただきました。九州運輸局管内でも優良事例ということですので、このような優良事例を引く続き地域公共交通の維持のために、地域住民、事業者、自治体が一体となって進めていただければと思います。本日はありがとうございました。

(朝長会長)

大野地区のまめバスにつきましては、西肥バスと大野地区の協議会、そして佐世保市で担当しておりますが、表彰していただきありがとうございました。

他にございませんか。ないようでしたら本日の会議を終了したいと思います。

いよいよ今回のバス運行体制一体化につきましては大詰めに入ってくると思います。5月までに一定の協議をまとめていくというスケジュールだったようです。運転士不足という大きな問題はありますが、佐世保市もバス事業者も全力を尽くして利用者の利便性確保に努めることが肝要であると思います。

その他、様々な場面で本協議委員を始め、国県、関係機関の方々のご支援が必要になってくると思いますので、今後ともよろしく願いいたします。

それでは、本日はお忙しい中ご参加をいただきましてありがとうございました。

私から事務局へお返ししたいと思います。鶴指委員どうぞ。

(長崎県立大学：鶴指委員)

2点ほどお伺いできればと思います。

1点目は、住民説明会等でのご意見で、敬老パスが引き続き利用できることは分かりましたが、それ以外に市内で1日乗車券、学生がお世話になっているカレッジパスがありますが、これがおそらく中心市街地の回遊性を高め、活性化にもなることに加えて、外部から来る方、特

にクルーズ船が毎日のように入港していますが、観光客の回遊性も高めると考えています。これが引き続き継続されるのか気になったので、お伺いしたいと思います。できれば現在の利用状況が分かれば教えていただければと思います。

2点目は、住民説明会の目的は路線バスの再編がメインでしたが、地域によっては住民が自ら公共交通を考えるということがあったりします。今後、公共交通は社会的に注目されていくと思いますが、説明会だけではなくある意味住民が参加するワークショップやあるいは協議の場など考えておられるかについてお伺いしたいと思いますので、よろしく願いいたします。

(朝長会長)

答弁できますか。事務局答弁と交通局、西肥バスも答弁がありますか。

(交通局：田崎委員)

現在私どもが作っている実績をということでございましたが、大学生定期については、この協議会の中で前任の石川先生、竹本理事長からもぜひ学生とタイアップして街中に出かけられるような体制をとという強いお話があり、28年度から始めて今年度で401枚、122%の実績ということでだんだん増えつつあります。当初作る時も、短大、大学、高専ということで、少し縛ったきらいがありましたが、専門学校等々色んなところから我々も入れてほしいという話がありましたが、あまり広げると私どもの経営を圧迫することになるので、丁重にお断りしている状況です。

1日乗車券についても毎年伸びており、今年度の実績が約4万枚程度販売しています。クルーズ船が入港していることもありますが、台湾から個人でお出かけになる観光客が1日乗車券を購入されています。我々は台湾までは宣伝できておりませんが、一度お越しになった観光客が自国において、佐世保に行くといくんなにいい企画券があるという口コミで利用が大きくなっています。もちろん市民の利用も増えています。28年に消費税改定に伴い、約20年ぶりに運賃改定しましたが、1日乗車券は改定せずに1日500円のお得なチケットです。私どもは市内運行ですが、運行体制一体化になりますと、エリアが他市町村まで広がりますので、そのあたりをどう勘案されるのか、市民の利便性という観点から利用していただいているので、ぜひ残していただくように川口社長に陳情しておきます。

(西肥自動車：川口委員)

当社はインバウンド対策や、富裕層の方がどうかということになれば、九州高速バスサンキューパスということで長崎佐世保に乗り込んでいます。

リフレッシュパスという65歳から75歳までの方に高速バスが半額になるなど色々な特典があるパスを販売しています。それが地域で行っていることです。

長崎国際大学には路線がありますので定期券を発行したり、いろいろな学校と提携して取り組みを行っています。

(事務局：中西)

ワークショップの話ですが、今まさにワークショップという形で取り組んでいるのが交通不便地区対策を進める時です。今回のバス再編に関しましては、競合区間の無駄をどうやって省き、効率化をしていくかというところですので、なかなかワークショップにはなじまないと思いますが、次の段階、この再編実施計画にあたるものを繰り返し作っていかうとしていますので、そういった段階の時には考えられる手法かと思います。

(長崎大学：鶴指委員)

ありがとうございました。

(朝長会長)

他に無いようでしたら事務局へお返しします。

(事務局：福井)

皆様大変お疲れ様でした。

これをもちまして本日の平成 29 年度第 3 回佐世保市地域公共交通活性化協議会を終了させていただきます。ありがとうございました。

(終 了)